

CAGLIERO11

カリエロ11



第7号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2009年7月11日

サレジオのミッションにたずさわる会員、若者への宣教師、友人の皆さん！

7月、8月の間、多くの管区は夏休みに入り、学校の合宿、信仰体験、楽しいひとときをすごし、宣教の体験をすることもあります。さまざまな形での宣教ボランティア運動は、いまや多くの管区で青少年司牧の一環として行われています。

ラテン・アメリカやアジアで、いくつかの宣教グループが活動しています。そのメンバーは毎週、あるいは毎月、司祭たちが回りきれないその地域の村々で、宣教活動にたずさわっています。

ラテン・アメリカの宣教グループは、典礼の特別な時期に（聖週間、クリスマス）、大都市のスラムや、アマゾン地方の先住民族の中に入り、福音を告げる活動を行っています。ヨーロッパや東アジアのいくつかの管区では、学年度の間ひと月かけて準備し、それから三週間、宣教を体験する活動を若者に提供しています。

また、エクアドルなどラテン・アメリカのいくつかの管区で、若いボランティア宣教師たちが自国で宣教の体験をしています。毎年、200名ほどの若者が、国内のさまざまな地方、アマゾンの密林、コルディジェラの人々の中で、海岸地方や、ストリート・チルドレンの中で、一年にわたって働きます。この若者たちは、サレジオ会員と生活を共にします。ほかの管区も、ボランティアを海外に派遣しています。

特定の開発プロジェクトのために専門的スキルを提供するボランティアの体験についても、私たちは知っています（スペインのJTM、イタリアのVIS、ベルギーのCOMIDEなど）。

宣教を使命として掲げ、宣教師として約束を立てた夫婦やその他、信徒のメンバーを、数年間、あるいは場合によっては生涯にわたり宣教地に派遣するサレジオ家族のグループもあります。

このように、さまざまな宣教ボランティア活動があります。大切なのは、事前の、活動中の、そして事後の養成カリキュラムです。若者の宣教への養成が、皆さんの管区でも行われていることを願っています。2011年には、南米大陸の体験に全サレジオ家族の目が向けられることを願い、宣教の日のテーマを「若い宣教師を養成する」にしたいと考えています。

皆さんが、宣教師ドン・ボスコの心をもって、若者たちのそばで、豊かな使徒的実りを得られますように。

宣教顧問 ヴァツラフ・クレメンテ神父

本号の内容

- ・ 宣教顧問より
- ・ 2009年7月
サレジオ会の宣教の意向
- ・ 若者からもらった
いちばん美しい贈りもの
- ・ イスラム教徒の中で働く宣教師

2009年7月 サレジオ会の宣教の意向

《北アフリカ諸国で働く若い会員たちが、キリスト者としての信仰を喜びと熱意をもってあかしする忍耐と勇気を、日々、見いだしますように。》

30名ほどの会員が、モロッコ、チュニジア、リビア、エジプトの北アフリカ諸国に暮らし、働いています。特に生徒のほとんど全員がイスラム教徒の学校で教育に取り組み、また数少ない外国人カトリック信徒に司牧の奉仕を提供しています。日々の奉仕を無償で捧げる彼らの存在は非常に意味深いものです。